

学習指導プラン

小学校外国語科第5学年

単元名 自分のことをもっと知ってもらおう



内容のまとめ

〔第5学年〕

「話すこと〔発表〕」「書くこと」

1 本単元で扱う学習指導要領の内容

「話すこと〔発表〕」

イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

「書くこと」

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

2 単元の目標

相手に自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、自分や身近な人ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。また、自分ができることやできないことについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を用いて書くことができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと〔発表〕	<p><知識> I/He/She can/can't ～.など、自分や身近な人ができることやできないことを表す表現について理解している。</p> <p><技能> I/He/She can/can't ～.など、自分や身近な人ができることやできないことを表す表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	相手に自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、自分や身近な人ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	相手に自分や身近な人のことをよく知ってもらうために、自分や身近な人ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。
書くこと	<p><知識> I can/can't ～.など、自分ができることやできないことを表す表現について理解している。</p> <p><技能> I can/can't ～.など、自分ができることやできないことを書く技能を身に付けている。</p>	相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。	相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。

4 指導と評価の計画（全8時間）

時	目標（◆）活動（○【】）	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準（◎）評価方法（〈〉・）
1	◆指導者の話を聞き、できることやできないことの表現が分かる。				
	【Let's Listen and Think】 ・ 単元ゴールの言語活動におけるモデルを聞いて、本単元を通して目指す姿の見通しをもつ。 ○Small Talk：先生ができることやできないこと 【Let's Listen】 ・ 指導者やALTの話を聞いて、それぞれのできることやできないことなどを理解する。 【Let's Try】 ・ 友達に自分ができることを伝える。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。			
2	◆自分ができることやできないことについて、伝えることができる。				
	【Let's Watch and Think】 ・ 映像に登場する2人の会話の様子を見たり聞いたりして、2人ができていることを聞き取る。 【Let's Listen】 ・ ALTの話を聞いて、できることやできないことを聞き取る。 【Let's Play】 ・ キーワードゲームを通して、動作などのできることやできないことに関係する表現に慣れ親しむ。 【Let's Think and Try】 ・ 伝えたいことを考えた上で、ペアの友達に自分ができることやできないことを伝える。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。			
3	◆自分ができることやできないことについて、友達と伝え合うことができる。				
	○Small Talk：何ができる？ 【Let's Play】 ・ 教員にできることやできないことを尋ねる。 【Activity】 ・ ペアになり、できることやできないことを伝え合う。 【Let's Listen and Read】 ・ 音声を聞きながら文を指で追う。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。			

	【Let's Write】 ・例文を参考に、自分ができることを書く。				
4	◆友達にほかの友達のことを知ってもらうために、紹介する友達ができることやできないことについて話すことができる。 【Let's Watch and Think】 ・児童にとって身近な教員の話聞き、できることやできないことについて、分かったことを書く。 【Let's Try】 ・友達に、前時でのペアの友達ができることやできないことを話す。 【Let's Chant】 She can play the piano. 【Let's Play】 ・友達に、提示された人物ができることを伝える。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、指導者が児童の学習状況を確認する。			
5	◆友達に自分の身近な人や好きなキャラクターのことをよく知ってもらうために、身近な人や好きなキャラクターができることやできないことについて話すことができる。 ○Small Talk：好きな有名人、キャラクター 【Activity】 ・友達に、誰でしょうクイズを出題する。 【Let's Chant】 She can play the piano. 【Let's Listen and Read】 ・音声を聞きながら文を指で追ったり、声に出しながら文を指で追ったりする。 【Let's Write】 ・例文を参考に、自分ができることを書く。	発			【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】 ◎He/She can/can't ～.など、身近な人ができることやできないことを表す表現を用いて話している。＜行動観察・1人1台端末の記録＞ ・児童が友達に話している様子や1人1台端末に録画した映像を見取り、評価の記録を残す。
6	◆相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。 ○Small Talk：好きな動物 【Let's Watch and Think】 ・できることやできないことなどを発表する映像を見て、分かったことや気付いたことを書く。 【Let's Think】 ・相手に自分のことをよく知ってもらうために、何を伝えればよいか考える。				

	<p>【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話す。 		発	発	<p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。＜行動観察・1人1台端末の記録＞ ◎相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。＜行動観察・1人1台端末の記録＞ ・児童が友達に話している様子や1人1台端末に録画した映像を見取り、評価の記録を残す。
7	<p>◆相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話したり書いたりすることができる。</p>				
	<p>○Small Talk：好きな果物</p> <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることやできないことなどについて、これまでの学習を生かしながら話す。 <p>【Let's Listen and Read】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら文を指で追ったり、声に出しながら文を指で追ったりする。 <p>【Let's Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例文を参考に、自分ができることやできないことなどを書く。 	書	書	書	<p>【「書くこと」の記録に残す評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎I can/can't ～.などを用いて、自分ができることやできないことを書いている。＜ワークシート＞ ◎相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことについて、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や表現を用いて書いている。＜行動観察・ワークシート＞ ◎相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができ

					<p>ることやできないことについて、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書こうとしている。</p> <p>＜行動観察・ワークシート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のワークシートや児童がワークシートの四線に書いている様子を見取り、評価の記録を残す。
8	<p>◆相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。</p>				
	<p>○Small Talk：何ができる？</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>She can play the piano.</p> <div> <p>【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることやできないことなどについて、これまでの学習を生かしながら話す。 </div> <p>【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通しての学習を振り返る。 	発	発	発	<div> <p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】</p> <p>◎ I can/can't ～.など、自分ができることやできないことを表す表現を用いて話している。</p> <p>＜行動観察・1人1台端末の記録＞</p> <p>◎相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。＜行動観察・1人1台端末の記録＞</p> <p>◎相手に自分のことをよく知ってもらうために、自分ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。</p> <p>＜行動観察・1人1台端末の記録＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が1人1台端末に録画した映像を基に見取り、評価の記録を残す。 </div>

※**発**は「話すこと[発表]」、**書**は「書くこと」の領域を示している。

5 本時の展開（3／8）

(1) 本時の目標

自分ができることやできないことについて、友達と伝え合うことができる。

(2) 本時の展開

児童の活動	・指導上の留意点 ◎評価＜方法＞	準備物
1 英語の歌を歌う。	・児童の実態に応じて歌のテンポを選ぶことで、児童が安心して活動に取り組むことができるようにする。 ・本単元で学習した語彙を活用することで、児童が既習内容を想起できるようにする。 ・指導者が自身のできることについて話すことから活動を始め、そのあとに児童ができることについて問い掛けることで、児童が話題を捉え、主体的に活動に参加できるようにする。	デジタル教材
2 【Small Talk】 ・「何ができる？」をテーマに行う。		
3 本時のめあてを確認する。		
自分ができることやできないことについて、友達と伝え合おう。		
4 【Let's Play】 ・教員ができることやできないことを予想し、尋ねる。	・前時の児童の振り返りの記述から、単元ゴールを意識した内容のものを提示することで、ほかの児童が単元ゴールを意識しながら言語活動を行うことができるように促す。 ・身近な教員の映像を提示し、教員ができることやできないことについて、児童が疑似的にコミュニケーションを行うことができる場を設定することで、児童が興味・関心をもって言語材料を聞いたり話したりすることができるようにする。 ・映像の中の教員が話した内容や聞き取った言語材料を児童と確認することで、児童が既習表現の意味と音声を結び付けて理解することができるようにする。	映像
5 【Activity】 ・ペアになり、自分ができることやできないことを伝え合う。		
【想定される児童のつまずき】 ・抜けている語がある。 例 I can soccer. 例 I can't play piano. ・動詞が重複している。 例 I can play swim fast. ・語順に誤りがある。	・指導者が大型モニター等で活動を例示することで、児童が活動の見通しをもつことができるようにする。 ・言語活動中には、児童が友達とやり取りをしている様子から、本時のめあてを達成できているかを見取り、達成できていない児童には個別に指導する。 ・できることやできないことのどちらか一方のみを伝えている児童が多い場合は、言語活動を中断し、本時のめあてを全体で確認してから言語活動を再開する。 ・言語活動後には中間指導を行い、言語活動中に	絵カード ワークシート

<p>例 I can <i>kendama</i> play .</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する英語が分からない。 ・できることやできないことのどちらか一方のみを伝えている。 	<p>見取ることができなかった児童のつまずきを抽出し指導することで、あとの言語活動において、児童が自信をもってコミュニケーションを行うことができるようにする。また、単元ゴールを意識しながら言語活動に取り組んでいる児童の姿を提示することで、ほかの児童が単元ゴールを意識しながら活動することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、本単元で用いたチャンツやキーワードゲーム等を行うことで、児童があとの言語活動に自信をもって臨めるようにする。 ・再度言語活動を行い、中間指導において指導した内容を児童が生かすことができているか評価し、児童が基本的な表現を正しく用いることができているかを見取る。 	
	<p>◎I can/can't ～.など、自分ができることやできないことを表す表現を用いて話している。</p> <p><行動観察></p>	
<p>6 【Let's Listen and Read】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら文を指で追う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な教員の映像を提示することで、児童が興味・関心をもちながら、音声と文字をつなぐ活動に取り組むことができるようにする。 	映像
<p>7 【Let's Write】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができるところを、例文を参考に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、活字体を四線に正しく書くことができているか、語と語の区切りに注意して書くことができているかなどを確認し、必要に応じて適宜指導する。 ・児童が書きたい言語材料が教科書や参考資料に記載がない場合は、指導者がワークシートに綴りを書き、児童がそれを見ながら書き写すことができるようにする。 ・基本的には個別に指導するが、学級全体に同じつまずきをしている児童が多い場合は、学級全体に向けて指導する。 	ワークシート
<p>8 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で伝えることができたこと ・次の時間や単元のゴールでがんばりたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を示すことで、児童が本単元を通して目指す姿を意識しながら、本時の活動を振り返ることができるようにする。 ・コミュニケーションに対する前向きな姿勢や、前時と比較して成長が見られる児童の姿などを紹介し、本単元を通して目指す姿を再確認する。 	ワークシート

6 本時の評価規準及び判断のポイントと指導の手立て

本時の評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
<p>指導に生かす評価</p> <p>「話すこと[発表]」</p> <p>◎I can/can't ～.など、自分ができることやできないことを表す表現を用いて話している。【行動観察】</p>	<p>「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることやできないことを伝え合う表現や動作を表す表現について理解し、それらをおおむね正しく用いて話している。
	<p>「十分満足できる」状況（A）と判断するポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることやできないことを伝え合う表現や動作を表す表現について理解し、それらを正しく用いて話している。
	<p>「努力を要する」状況（C）と判断される児童への指導と手立て等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容について問い掛け、どのような言語材料を用いて伝えればよいか一緒に考えながら、前時に指導した正しい表現を想起できるようにする。

自分のことをもっと知ってもらおう

★四線上に名前を書きましょう。

・みょうじと名前の間は少し空けましょう。 ・文字と文字の間をつめて書きましょう。

Name	空 ける	
------	---------	--

★めあて

自分ができることや できないことについて、友達と伝え合おう。

★友達と、できることやできないことを伝え合いましょう。

（英語で聞いて、日本語でメモをとりましょう。）

友達の名前	できること	できないこと

★先生の英語を聞いて、英語の文を指で追いましょう。

I can play dodgeball.

★教科書やワードブックの英語の文を参考にして、英文を書いてみましょう。

I can

★学習のふり返りをしましょう。



【こんなことが書けるといいね！】

- ・英語で伝えることができたこと
- ・次の時間や単元のゴールでがんばりたいこと
